

重層的支援体制整備移行準備事業について

1 目的

大田区における「重層的支援体制整備事業」の構築に向けて、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築することを目的とする。

2 実施内容（予定）

大田区版重層的支援体制整備事業の構築イメージは、別紙1を参照。
令和4年度から新たに実施するものについては、以下のとおり。

(1) 多機関協働事業

専門的知見をもったスーパーバイザーの助言等を受けながら、複合的な課題を抱えた世帯への支援方針や関係機関との連携体制を検討するため、新たに「重層的支援会議」を実施する。

(2) 参加支援事業及び地域づくり支援事業

大田区社会福祉協議会等に委託し、地域福祉コーディネーターが、本人の希望と地域資源との調整を行い、地域社会とのつながりの回復を支援する参加支援事業を実施する。

併せて、地域課題に多様な主体が参画するプラットフォームの場の促進等の地域づくり支援事業を実施する。

(3) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

大田区生活再建・就労サポートセンター（JOBOTA）の機能を拡充し、新たに「ひきこもり支援室SAPOTA（サポタ：サポート+大田）」を開設する。SAPOTAの相談員は、ひきこもりなどで相談窓口に来られない方の自宅等へ出向き、本人との信頼関係を形成することで、適切な支援機関につなぐ事業等を実施する。

3 今後の予定

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 重層的支援会議については、「大森地区」をモデル地区として実施 「重層的支援体制整備事業実施計画」の策定 該当する各種補助事業の予算一体計上を検討 支援窓口のつなぎ方・連携方法等、多機関調整機能を検証・検討
令和5年度以降	<ul style="list-style-type: none"> 重層的支援体制整備事業実施計画に基づき、早期の本格実施をめざす。